



終戦から79年たった今、平和とは何かを考えよう！



2年前の2022年2月24日にロシアがウクライナ侵攻しました。さらにその後、パレスチナとイスラエルも戦争になり、世界中に戦火が拡大しています。そのような中、世界で唯一の戦争被爆国である日本は、先日の8月6日・9日に「原爆の日」、そして8月15日に、79年目の「終戦記念日」を迎えました。

このような日本の8月は特に、「平和とは何か？」「戦争とは何か？」を改めて考えさせられる月でもあると思います。しかし、今年はオリンピックがあった為か、例年よりも新聞やテレビでの発信が少ないように感じます。また、SNSで芸能人のゴシップや不適切発言等が溢れ、本来発信されるべき声がかき消されている気がします。「人は『**確証バイアス**』という自分の思い込みや願望を強化する情報ばかりに目が行き、そうでない情報は軽視してしまう傾向にある」(ちば県9条連ニュースより抜粋)とされています。皆さんも、「平和・戦争」といった情報にも目をぜひ向けてみて下さい。

またJR東労組は、現地に立つことにより犠牲になるのは常に弱い立場の人、市民、そして労働者であることを学びました。しかし、その実体験を語れる人は少なくなっており、学べる機会は今しかありません。**どのように平和な社会を目指すのか、私たちに問われているのではないのでしょうか？**

誰もが平和に生活したいと望んでいると思いますが、平和への願いは一緒でも、**どのように平和な社会をつくるのか一致していないのが、今の社会**に現れていると思います。私たちの第一歩は、平和について考えて対話したり、現地に立って真実を学び続けることです。**今こそJR東労組に結集し、79回目の「終戦の日」から、平和について考えることをみんなで始めて行きましょう！**

正しい情報とは何か？真実とは何か？ JR東労組に結集して考えよう！